

Kandai Style

2024.6 Vol.516
関西大学通信



夏休みの過ごし方

夏休みの予定
アルバイトを頑張る
帰省して楽しむ



やすおか かほ
安岡 佳保 さん
(社会学部2年次生)

高 知市の出身で、高知が大好きなので、アルバイトも高知県の企業の直営店である「芋屋金次郎」で働いています。高知出身の従業員も多く、働きやすい職場です。郷土を代表するお菓子「芋けんぴ」を販売する仕事は、お客さんが声を掛けてくれることも多く、楽しく続けています。この夏は商品の包装などをもっとスムーズにできるようにスキルアップしていきたいと思っています。お盆がアルバイトの繁忙期なので、高知に帰る



アルバイト先の「芋屋金次郎」にて

のは8月下旬になると思います。長距離バスで5時間かかる故郷は、自然豊かでとても良いところ。高校生の時はそれほど思いませんでしたが、大阪で1年を過ごし、改めてその良さを感じました。帰省したら高校時代の友人に会ったり、昨年苦勞して運転免許を取ったので車を運転したりして過ごしたいと考えています。高知県は広いので車がないとなかなか行けない場所も少なくありません。あちこち行ってみたいですが、特にゆずドリンクで知られる馬路村を訪れてみたいです。

来年は就職活動の夏になると思います。今年は楽しみつ、大阪で就職するか、高知に戻って働くか、進路について考え、決断する夏にしたいと考えています。

しまづ ほだか
島津 穂高 さん
(法学部4年次生)



夏休みの予定
卒業論文の準備をする
旅行を楽しむ

私 は法学部の大津留ゼミに所属し、国際政治学を学んでいます。ゼミは国際関係に興味がある学生が集まっており、和気あいあいとした雰囲気の中、熱心に研究に打ち込んでいます。卒業論文はASEANとEUにおける地域主義の比較をテーマに作成する予定で、まとまった時間の取れるこの夏休みを生き生きと準備したいと思います。また研究分野とつながりのある東南アジアへの旅行も計画しており、街の観光や現地の食事などを楽しみたいです。

船旅と読書が好きなので、昨年の夏休みはフェリーで北海道へ旅行に行ったり、50冊ほど本を読んだりして過ごしました。関大生の皆さんにおすすめしたい本は『大学生の学び・入門：大学での勉強は役に立つ！』（有斐閣アルマ）です。学生生活の中で繰り返し読み、勉強へのモチベーションを上げ

ていました。学生時代だけでなく社会に出てからも、どのように大学での勉強が役に立つかが書かれていて、今頑張っていることが将来につながると思えることができました。図書館にもあるのでぜひ読んでみてください。

今年は学生最後の夏休みなので、振り返って楽しい思い出になるよう悔いなく過ごしたいです。



フェリーでの北海道旅行

関大生に聞いた！
夏休みの過ごし方

夏休みの予定
日本の夏を満喫する
友人と海外旅行へ行く
就職活動の準備

私 は2023年2月から11月までの9カ月間、ニュージーランドに留学をしていました。ホームステイ先は自然が豊かな郊外で、そこからバスに乗って中心街にある大学に通っていたので、いろんな街の景色を楽しむことができました。ニュージーランドは日本と季節が反転しているため、長らく寒い気候の中で過ごすことになり、今年は2年ぶりに日本で暑い夏を迎えられることがうれしいです。久しぶりの猛暑と湿度に耐えられるかどうか少し不安もありますが、浴衣を着て夏祭り

や花火大会に行くなど、日本ならではの夏文化を友人と満喫したいです。その後は、留学先が同じだった学部の友人と海外旅行にも行ってみたいと思っており、香港のテーマパークなどを観光したいです。

一方で、就職活動に向けた準備も欠かせません。外国語学部OB・OGのインタビュー動画を参考にしながら業界研究をしており、語学力を生かせる客室乗務員や大学職員に興味を持っています。この夏はしっかりと自己分析をして、キャリアセンターも活用しながら自分に合った業種は何かを考えています。また、英語と第2言語として学んでいるスペイン語の資格勉強も頑張ります。



やすい すみれな さん
(外国語学部3年次生)

ニュージーランドのオークランド市を代表するプリムアート駅



今 年の夏休みは就職活動への準備に力を注ぎたいと考えています。就職活動が早期化傾向にある中で、私自身も早い時期から準備に取り掛かろうと考えており、この夏はインターンシップへの参加や、就職活動で武器となる資格取得のための勉強、エントリーシートや面接の対策を行いたいと思っています。普段はベーカーリーでアルバイトをしていますが、他の従業員が気持ちよく働けるように、例えば物の配置など、小さなことでも何か職場環境を整えるよう意識して、誰かを裏方でサポートすることに向いているのではないかと感じています。自身の強みを見つけて積極的にアピールしていきたいです。

昨年の夏休みは、趣味の旅行やライブを思い切り楽しみました。今年は忙しくなりそうですが、息



夏休みの予定
インターンシップへの参加、就職活動の準備
旅行やライブに行ったりリフレッシュ

テーマパークで中学時代からの友人と

たなか さくら
田中 桜 さん
(文学部3年次生)

抜きとして趣味の時間も取れたらと考えています。中学時代から仲の良い友人も国家試験を控えた勝負の年で、「お互い大変な時期だけ一緒に乗り越えていこう」と励まし合っています。

自身の経験を踏まえると、1、2年次生の関大生の皆さんには今のうちに自分の好きなこと、息抜きできることをたくさん見つけてほしいと思います。





いま、防災について学ぼう。

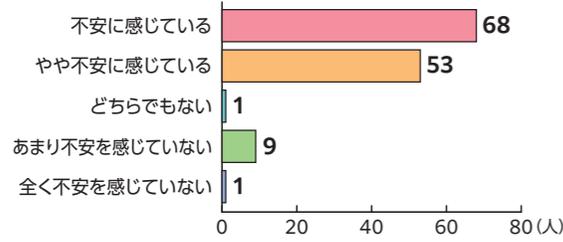
災害はいつやって来るか分からないもの。何の備えもなしに災害に遭うのは避けたいところです。「普段から何を準備しておけば良い?」「もし災害が発生したら?」「被災地以外の人たちにできることは?」などのテーマについて、考えてみましょう。

今回は学生にアンケートを実施し、防災に関する意識と実態調査を行いました。また、いざという時に役立つ情報や防災グッズも紹介します。皆さんも、手軽にできることから始めてみませんか?

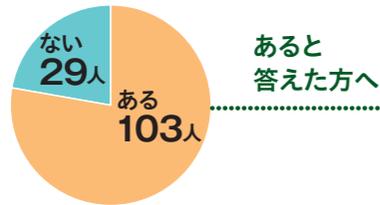
アンケート期間:2024年3月28日~4月11日 対象者:学生 回答者数:132人

防災に関する意識と実態アンケート

Q1 自然災害に対して不安を感じていますか?



Q2 災害に備えて行っていることはありますか?



あと答えた方へ

Q3 具体的に行っている対策として当てはまるものをお答えください。(複数回答可)

- 水や非常食、生活必需品(日用品など)を備蓄している… 80人
- 居住している場所から最寄りの避難場所を知っている… 54人
- 居住区域のハザードマップを見たことがある… 44人
- 家具の配置や向きを工夫している、または自宅の補修や強化を行っている… 41人
- 非常食や生活必需品をバックパック等に入れて、非常用持ち出しセットとして準備している… 39人
- 貴重品(現金、クレジットカード、運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード、パスポートなど)をすぐに持ち出せるよう、まとめて管理している… 33人
- 災害時の家族との緊急連絡方法や待ち合わせ場所について確認している… 33人
- キャンパス内で普段よく使用する場所からの避難経路(非常口など)を確認したことがある… 24人
- 就寝時に手の届くところや決まった場所に懐中電灯を備えている… 16人
- パスタの水をできるだけためた状態にしている… 8人
- その他… 1人(LINEの安否確認を利用している)

Q4 防災や災害時に関して、ご自身が実行していることやこれからしたいこと、意見などがあれば自由にお書きください。(自由回答)

- “災害を想定した避難訓練や、地震のシミュレーションを体験した時に、避難の難しさや地震の恐ろしさを実感しました”(化学生命工学部2年次生)
- “少しでも能登半島地震の被災者の助けになればと思い募金しました。被災地復興には助け合いの精神が不可欠だと思います”(外国語学部3年次生)
- “家屋内の扉は完全に締め切らず、地震時に扉がゆがんで開かなくなるのを防ぐようにしています”(社会安全学部1年次生)
- “非常用持ち出し袋に加えてローリングストックを行い、災害時でも自力で生活できるよう備えています。また応急手当普及員や防災士の資格を取得し、日常的に防災に関心を持っています”(社会安全研究科1年次生)

- “非常食は誰でも食べられるアレルギーフリーのものを選びたいです”(社会安全学部3年次生)
- “大学やアルバイト先などよく利用する場所の避難経路、家族との連絡方法や待ち合わせ場所の確認をしたいです”(人間健康学部3年次生)
- “大きな災害が起こった時に体調を崩すと、簡単に受診したり薬をもらったりできなくなるので、自宅に市販薬を常備しています”(法学部3年次生)
- “ロングスカートがあれば避難所での着替えや防寒にもなると聞いたので、準備しておきたいです”(社会学部1年次生)

*年次等はアンケート回答時のもの

防災・災害について考える

災害に備えて 防災・避難グッズ紹介

【自宅に備蓄しておきたいものの例】

- 水
- 食料(缶詰、レトルト食品、アルファ米、カップ麺、あめやチョコレートなどの携帯食)
- 懐中電灯
- モバイルバッテリー、予備電池
- トイレットペーパー、ウエットティッシュ
- 携帯トイレ、簡易トイレ
- 救急セット(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- カセットコンロ、ガスボンベ
- 軍手
- ガムテープ
- 女性用品(生理用品など)

非常時に必要なものは、人によって多少異なります。「もし水やガスが使えなくなったら?」「交通機関が止まって帰宅できない場合は?」と、イメージしながら優先順位を付けて選ぶと良いでしょう。最近では、ホームセンターや100円ショップで気軽に買えるコンパクトな防災グッズも豊富です。まずは、持ち運びやすい「防災ポーチ」や「防災ボトル」から準備してみてもいいかもしれません。

災害が起こった時は

1 災害の情報を調べる

内閣府・防災情報のページ「お役立ち情報」(一般向け)では、防災情報、災害時に便利なウェブサイトやアプリ(多言語)などが紹介されています。

https://www.bousai.go.jp/oyakudachi/info_general.html



2 安全な場所へ移動する

日頃から、自治体のハザードマップや防災マップで自宅やよく利用する場所の災害警戒区域や避難場所を確認しておくといいでしょう。

家族などとの連絡

災害時、被災地への通信がつながりにくい状況になった場合にNTTの災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板(web171)の提供が開始されます。

日頃から、家族などと非常時の連絡や待ち合わせ方法について話し合っておくことも重要でしょう。



【非常用持ち出し袋の中身の例】

- 飲料水
- 非常食
- モバイルバッテリー、予備電池
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- アルミブランケット
- 携帯トイレ
- トイレットペーパー、ウエットティッシュ
- 圧縮タオル
- 洗面用具
- 歯磨きセット
- 使い捨てカイロ
- 救急セット
- 軍手
- ガムテープ
- 現金



100円ショップで買える防災グッズの一例

被災地に行かなくてもできる支援

被災地への支援は、現地に行ってボランティア活動することだけではありません。被災地でのボランティア活動のために募金することも立派な支援活動です。また、被災直後の混乱が収まってきたら、被災地で生産されたものを購入したり、観光で訪れたりすることなども、被災地の復興支援につながります。

(「政府広報オンライン」
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201909/4.html#firsSection>より引用)

関西大学の防災啓発活動

本学では、毎年秋学期に大規模な防災啓発行事「関大防災Day」を開催しています。防災について知ることのできる貴重な機会ですので、皆さんもぜひ参加してください!



【関大防災Day2023】の様子(2023年11月)



PROFESSOR'S COMMENTS

社会安全学部 永田尚三教授

まさかよりもよってめでたい正月に大規模災害が発生するとは、専門家である私を含め誰も思わなかったのではないのでしょうか。でも能登半島地震は発生してしまいました。時と

て、危機事態は今回のように、その裏をかくように発生します。関大生の防災に関する意識と実態アンケート結果からは、能登半島地震の影響もあってか、災害への不安感や関心が非常に強いことや、個人防災レベルで日頃から一定の備えをしている学生が多いことが分かります。また自由記述からは、社会的取り組みへの関心が強い回答もいくつか見られました。わが国の災害対策は、先取りではなく前例踏襲型の後追い

の傾向が強いとの批判がありますが、個人の災害への備えにおいても、そんなことはまさか起こらないという思い込みを廃して、日頃からの備えをしていく必要があります。また大きな災害には、個人だけでは対応できません。さらにもし興味があるのならば、地域の防災イベントに参加する、自主防災組織や消防団活動に参加するなど、地域全体での災害対応体制への参加なども検討してみるとよいかもしれません。

次回のテーマは…「関大生の保険事情について」

学生の皆さんは、保険に加入しているのでしょうか。9月号の誌上教室では、関大生の保険加入に関する実態を調査し、今後必要になるかもしれない保険についての知識を養えるような誌面を企画しています。



プロゴルファー

有馬ロイヤルゴルフクラブ所属

まつもと りょう
松本 凌さん

大阪桐蔭高等学校出身
2020年 人間健康学部卒業

ゴルフから離れた2年間で
本当に自分がしたいことと向き合うきっかけに

人間健康学部を卒業した松本凌さんは、ツアープレーヤーとして2023年のプロテストに合格し、関西大学体育会ゴルフ部男子から史上初のプロゴルファーとなりました。現在は有馬ロイヤルゴルフクラブ所属のプロゴルファーとして活動しています。今後の目標は、2部トーナメント「ABEMAツアー」で20位以内に入ること。そして男子QT（フォリアイニングトーナメント）で良い成績を残し、レギュラーツアーで戦える選手になることだと意気込みを語ります。

ゴルフ部ではこれ以上ないほど同期や先輩に恵まれ、同じ目標に向けて一緒に頑張ることができたと振り返ります。4年次生の時には30年ぶりの2部リーグ優勝を達成し、個人としても男子最優秀選手に選ばれました。一方で「その達成感からプロの道には進まず、大学卒業後にIT企業への就職という選択をしたのだと思う」と話します。

しかし、妹がプロテストに合格したことや、共に競い合った選手たちがプロテストに合格する姿を見て、ゴルフを仕事にしたいと強く思うようになります。プロゴルファーとしての自分に不安を感じ、悩む松本さんの背中を押してくれたのは、家族や勤務先の会長など周囲の人たちでした。

学生時代は人間健康学部所属し、ユーモア学に興味を持ち浦准教授のゼミに所属していました。ゼミで培った想像力と物事をさまざまな角度から考察する力は、ゴルフにおいても柔軟な発想と視点で、アプローチ方法を考える力になっています。

松本さんにとって企業で働いた2年間は大切な期間だったと言います。その時間があつたからこそ、仕事として続けたいほどゴルフが好きだという思いを強く持つことができました。「判断に迷い、心が揺れていたら覚悟を決めて取り組むことも大切です。先延ばしにし、時間を無駄にするのはもったいない。今日という日は、今日しかない。1日1日を無駄にせず、好きなことはとことん突き詰めてほしい」とエールを送ります。



ある1日の
スケジュール

- 4:30 起床、朝食
- 5:00 ホテルでストレッチ
- 5:30 試合会場へ入る
- 会場にてウォーミングアップ
- 6:00 事前の練習スタート
- 7:00 試合開始(18ホール)
- (昼食)
- 13:00 試合終了
- 13:30 会場の練習場へ移動、反省とフォームの修正



必須アイテムは、ゴルフクラブやグローブなど一式と、コースの傾斜や距離を記すゴルフメモ。

Pro Golfer

VIVA!!

学び易



商学部 国際ビジネス専修

「専門演習/卒業研究」

ふか さわ みつ き
深澤 光樹 准教授

五感をフルに使い自ら見て聞き考え行動する

経済・社会の課題を自分事として捉える

深澤光樹准教授のゼミでは、世界経済の専門知識の習得と実践から、多角的な視点でグローバル化が進展途上国に与える影響について研究しています。

まずは専門書の輪読を行い、バナナなどの身近なグローバル商品を具体例に、発展途上国の生産体制・労働環境や日本の消費者との関係性を読み解き、アンフェアな取引が起こる背景について考察します。身近な商品が世界とどのようにつながっているのかを想像する力が何よりも大切だと語ります。

3年次の夏以降は、学生が主体となってプロジェクトに取り組みます。〈産学連携〉と〈新規開拓〉の2つのチームに分かれ、学生独自の視点で社会における課題を発見し、解決に向けた企画を考案し実行します。その際、提携企業との交渉やマーケティング、デザイン、販売方法から価格決定まで、一貫して学生が行います。重要なのは、その企画が課題解決につながるだけでなく、メッセージ性があるかどうかということ。〈産学連携〉チームでは、「Stepping Stone」^(※1)という産学連携プロジェクトに参加し、環境保全とコーヒー2050年問題の解決を目指して法政大学との合同チームで企画開発した「サステナブルバッグ」は、「KANDAI×HOSEI SDGsアクションプランコンテスト2023」で最優秀賞ほか2賞を受賞。〈新規開拓〉チームでは、大阪を起点に企画を考案します。環境問題に取り組むアウトドアブランド「Patagonia」の店舗に何度も足を運び、ついに提携が実現。5月にはさまざまな提携企業と共同し、「アパレル製品を通して消費について考えるきっかけを作るイベント」をゼミ主催で初めて開催しました。4年次でもプロジェクトは継続しつつ、自身の研究テーマをさらに深め卒業論文に取り組みます。

「今後、社会では自ら考えて行動し、作ることができる人が求められるでしょう。そのため学生にとって自らの意思で何かを作る、形にすることは非常に大きな一歩です。皆さんが思う以上に自分から行動できることは多く、持っている影響力も大きいです。何より実際に見て、触れて、話を聞く経験はとても楽しく、貴重です。発想と行動力で、一緒に社会に貢献できる物を作っていきましょう」と締めくくります。

※1 Stepping Stone…株式会社スバストラジャパンが6大学(明治大学、法政大学、駒澤大学、関西大学、名古屋外国語大学、東洋大学)のゼミ、認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパンと進める、産学連携のフェアトレードプロジェクト。



さかもと じゅんと
坂本 隼人さん(4年次生)

以前はコロナ禍で活動が制限されていたこともあり、活動が盛んで楽しそうな深澤ゼミに入りました。新規開拓チームではリーダーとしてみんなの意見や思いをまとめる立場を経験し、傾聴力や問題を追求する力が身に付いたと実感しています。いつも親身に私たちの相談に乗り、気軽に食事にも誘ってくださる深澤先生や、長い時間を共に過ごすゼミのメンバーは家族のような存在です。



さくら
川原 咲羅さん(4年次生)

インドについての学びを深めたいと思い、このゼミを選びました。「Stepping Stone」は他大学との共同チームのため、オンラインの打ち合わせでなかなか意見を言えずに苦労したり、エコバッグの刺しゅうデザインを担当した時は自分らしさを生かすことに悩んだりもしました。そういったゼミでの経験を積み、今では積極的に発言できるようになりました。商品作りは本当に楽しく有意義でした。



緊急時に学生を支えてきた支援体制

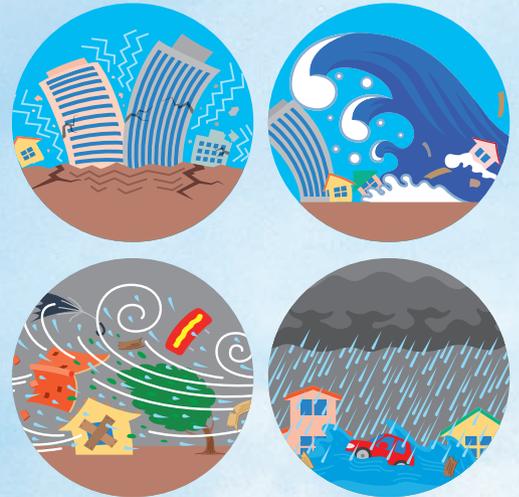
本学では、地震や豪雨などの自然災害が発生した時や新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっていた時期、家計急変時などにおいて、給付奨学金制度を拡充するなどして学生の学びの環境維持に努めてきました。学生の福利厚生に資するこれまでの支援体制について紹介します。

自然災害が発生した時は

自然災害とは、主に地震、津波、暴風、豪雨等に起因する災害を指しますが、この自然災害により災害救助法または天災融資法が適用された地域に学生や学費支弁者が居住しており、災害により家計が急変した場合は、災害時支援給付奨学金を受けることができます。

この制度を規程化したのは2015年のこと。それ以前から本学は阪神・淡路大震災、東日本大震災をはじめ全国で数々起きる自然災害に対する学生の支援を行ってきましたが、災害時にはいち早く学生を支援することが求められるため、規程の作成に至りました。

給付金額は被災程度によって異なりますが、家屋の全壊、滅失または流失の場合は、学費の2分の1相当額を上限としています。



コロナ禍における経済支援の実施

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっていた2020年、家計急変者給付奨学金制度を緊急措置として拡充しました。新型コロナウイルス感染症の影響により家計が著しく急変したことで修学が困難になった学生に対して、年額12万円を給付。その他にも、短期貸付金の特別措置をはじめ、一人暮らしの学生(下宿生・寮生、外国人留学生・留学生別科生)および外国人研究生への支援として、家賃(寮費を含む)、生活費に加え、オンライン授業に対応するネットワーク環境整備費用等も生じることから、5万円の一律金(外国人研究生に対しては一律3万円)を支給しました。(※現在は募集を行っていません。)

被災した入学試験受験生に対する経済支援

災害救助法の適用を受けた地域で被災した入学試験受験生について、その被害状況により「入学検定料の減免」の経済支援特別措置を行っています(上限あり)。

なお、本経済支援特別措置の対象者は、本学に入学後、災害時支援給付奨学金の出願が可能です。





総合情報学部 4年次生

羽渕 晴一郎さん

学業もスポーツも全力で取り組む
これからもプロリーグで挑戦し続けたい

羽渕晴一郎さんはドイツのプロハンドボールリーグ・ブンデスリーガ2部への入団が決まり、2024年2月からドイツで活動しています。ポジションは、技術量でチームの強さを左右するといわれるピボットで、2022年にはU-21日本代表選手としてアジア選手権優勝に貢献し、2023年のU-21世界選手権にスターティングメンバーとして出場しました。

体育会ハンドボール部は経験者も多く、全員で切磋琢磨しながら週6日18時から21時まで練習を行っています。2年次生の時には全日本インカレへの出場をかけた西日本インカレに出場し、福岡大学戦では6点差からの逆転勝利という白熱した試合となり、ここで活躍できたことが大きな自信につながったと話します。

ハンドボールはポジションの役割が明確に決められているため、メンバー全員との臨機応変な連携が欠かせないチームスポーツです。「ピボットは唯一、相手ディフェンスと直接競り合い、チームがゴールを狙えるスペースを作り出すことができるポジションで、相手に負けない体幹の強さが必要なので、体づくりや筋力トレーニングは欠かせません」と言います。これまでストイックに自主トレーニングを積み重ねた成果が表れ、海外の選手とも対等に競い合うことができていると語ります。

スポーツに打ち込む一方で、総合情報学部では黒上ゼミに所属し、ICTと教育について学んでいます。今年はドイツからオンラインでゼミに参加しており、卒業論文はICTとスポーツウェアラブル機器の相乗効果をテーマに作成する予定です。1年次生の頃からきちんと授業の課題をこなし、早めに単位を修得することを心掛けてきたため、学業とドイツ・プロリーグ入団を両立することができていると語ります。

「ドイツ・ブンデスリーガで日本人が活躍するのは相当難しいこと。2月に今シーズンが始まりましたが、一戦一戦が重要です。その中で実績を積み、トップチームで活躍できるように頑張っていきたいです。そして日本人選手としての地位を確立していきたいと思います」と夢を語ってくれました。



ドイツのチームメンバーと

次回は、羽渕さんからのご紹介で富山雄正さん（総合情報学部4年次生）が登場。お楽しみに！



Seiichiro Habuchi

学部・研究科・併設校トピックス

法学部 / 法学研究科

学生時代のアルバイト

学業との両立はもちろん大切ですが、アルバイトを通して貴重な社会勉強をすることも期待できます。私は3年次生までは水曜をアルバイトの日と決め、さまざまな仕事をしました(遺跡発掘、交通量調査、ケーキ工場等)。4年次生は家庭教師の掛け持ち、大学院生時代は週5で小学校の夜警をして生計を立てました。国立だったので学費免除制度の恩恵を受け5年間無償で勉強させてもらいました。夜警と奨学金と授業料免除がなければ途中で挫折していたと思います。感謝と恩返しを忘れずにしたいです。(教学主任 河村厚教授)

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

日本語教師の国家資格化

2024年4月から国家資格「登録日本語教員」制度が始まりました。これまで日本語教師には国が定める資格要件はありませんでしたが、在留外国人が増加傾向にある中で、専門性を有する日本語教師の質的・量的確保のために創設された制度です。文学部・文学研究科・東アジア文化研究科では、それぞれ日本語教師養成講座を設けていますが、現在、本制度に対応した機関認定を受けるための準備を進めています。認定を受けるまでは経過措置が適用されますので、ぜひ養成講座の受講を検討してみてください。(副学部長 日高水穂教授)

経済学部 / 経済学研究科

論文を読もう・論文を書こう

皆さんは、2年次秋学期初めにゼミを選び、3年次から各ゼミで専門知識を深めることが期待されています。ゼミでは卒業論文やゼミ論文を書くことが求められます。そのためには、まず論文を読んでみるのが重要です。例えば、関西大学経済学会発行・オンライン公開の「経済論集」があります。論文の構造、文献の引用方法、仮説の立て方、論理的な展開などに触れることができますし、先生たちの研究にも触れることができます。梅雨の雨音を聞きながら、論文を読んでみるのはいかがでしょうか。(教学主任 甲斐成章教授)

各学部・研究科・併設校のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部 / 商学研究科

FSP、やってます

商学部では、高度な金融知識を有する人材を育成するために、FSP(ファイナンス特別プログラム)を実施しています。金融は、銀行、証券、保険、信販などを含む幅広い業界です。また、金融業界ではない会社にも、資金調達はあります。金融に関連する講義で体系的な知識、金融機関でのインターンシップ(5日間程度)で実践的な金融リテラシーを得ることが出来ます。(副学部長 石田和之教授)



社会学部 / 社会学研究科

広い視野で眺めてみる

6月に入り、新学期のペースに慣れ、勉強や課外活動が楽しい時期になってきたのではないのでしょうか。同時に、中だるみも感じる頃だと思えます。社会学部では、日常の行動や感情、考えが社会を形作り、社会を反映することを学びます。この時期こそ、自分自身の立場や行動を広い視野で眺めてみてください。世界の中での日本はどのような立場なのか、関大生の社会での立場は、など…。自らの立場性を捉え、社会とのつながりが分かり、充実した毎日になります。(教学主任 永富真梨准教授)

政策創造学部 / ガバナンス研究科

新入生合宿2024

政策創造学部では、毎年4月に新入生合宿を実施しています。何よりも仲間を作り、これからの学生生活を充実したものとするを目的に実施しています。先輩である祭典実行委員会の皆さんが工夫を凝らして企画立案してくれている点が大きな特徴です。いつものキャンパスとは違う空間(高槻キャンパス高岳館)で一泊研修を実施し、長い時間を同級生や先輩たちと一緒に過ごすことで、初めて大学で会った人たちと友人になり、大学生活を共に送ることへのモチベーションが高まるのではないのでしょうか。(学生主任 徳丸宜穂教授)

外国語学部 / 外国語教育学研究科

源泉に触れる喜びを

YouTubeで音楽を聴くとき、英語圏の文化の背景が歌詞の世界に入り込んでいるのを感じます。最近では、主婦に人気になり、本学卒業生の方も参加したAwichさんのあのナンバーや、Billboardで世界的にヒットしたアニメの主題歌のあのナンバーです。これらは今を生きる多くの人の琴線に触れる表現がありますが、残念ながら「受験英語」ではありません。聞き流すのではなく、歌詞の意味や表現が出てきたルーツを調べながら聴いてみると、今改めて英語を学ぶ意義を感じられるでしょう。(田島慎朗教授)

人間健康学部 / 人間健康研究科

これからの健康づくり

厚生労働省は2024年1月に「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」を公表しました。このガイドは、座りっぱなしの時間が長くなりすぎないように注意し、今より少しでも多く身体を動かすことを推奨しています。健康づくりにおいて運動は欠かせない要因ですが、実際に運動を継続することは困難です。そこで、エンターテインメントの力を借りればもっと楽しく取り組めると考えられます。これからの健康づくりは、通信業界、音楽産業界、エンターテインメント業界との連携を図っていくことが重要な鍵となるでしょう。(弘原海剛教授)

総合情報学部 / 総合情報学研究科

キャンパス祭・大同窓会を開催

去る4月28日、高槻キャンパス祭と総合情報学部創設30周年記念大同窓会を同時開催しました。ゼミやサークルなど、学生たちが日頃の活動の成果を発表するのに加え、プログラミング教室やアイススケート教室など、卒業生が家族でも楽しめるような多くの企画が催され、現役生と卒業生が交流する意義深い1日となりました。大変な労力をかけて準備をしてくださった卒業生ならびに教職員、そして祭典実行委員の皆さまと、当日ご参加いただいた皆さまに心より御礼を申し上げます。(学部長 名取良太教授)

社会安全学部 / 社会安全研究科

6月15日(土)に公開講座を開催します

社会安全学部では、6月15日(土)に、第38回高槻ミュージックキャンパス公開講座を開催します。今回は、「水の事故から、大切ないのちを守る」がテーマです。関西大学在学学生は受講料が無料ですので、ぜひ一緒に水の事故対策や安全教育について考えてみませんか?(河野和宏准教授)



システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

そなえることの大切さと難しさ

私の好きな言葉に「そなえよ つねに」というものがあります。このフレーズはボーイスカウトのモットーであり、私もボーイスカウトに所属していた際には幾度となく目にしました。ボーイスカウト日本連盟のウェブサイトを確認すると、「スカウトは何事に対してもいつでも必ずやり通すという準備を常にしておく」という意味だそう。登山や真冬の耐寒キャンプなどのボーイスカウト活動における自然の想定外の事象に対して、ロープ結びや応急処置を学んで常日頃から準備して慌てず対応しようという意味合い

でも使われます。一方、この言葉はそうしたアウトドア活動での急変する自然現象だけでなく、人生のさまざまな局面で有効な心構えだと思います。例えば日本は災害の多い国ですが、災害発生時の避難経路の確認や食料品の備蓄など、しっかりと備えて対策することが欠かせません。研究においても、ただ漫然と日々の実験をこなすのではなく、関連する研究分野の基礎知識を十分に備えた上で実験結果に対して入念に観察することにより、新たな発見や成果に結びつきます。

昨今の時代の変化の速さには、面食らうことが多々ありました。コロナ禍が時計の針を急激に進めてしまい、社会システムや人々の価値観が大きく変化したような印象を受けます。ここ数年は急変する事態に対応することに精一杯で備えることの難しさを痛感するばかりでした。しかし、人々の価値観や生活様態が変化しても変わらない大切なものがあるはず。それを大学で見つけて今後の人生に備えてくれることを期待しています。(環境都市工学部 松岡光昭准教授)

教育推進部

「考動力」を高めよう!

本学が定める「考動力」はこれからの社会を生きる上で不可欠な力です。それらの力はどのようにして身に付けたり高めたりできるのでしょうか。まずは、インフォメーションシステム「学生フィードバック」で自分の考動力を確認してみてください。入学時や在学中に回答した調査の結果(考動力のレーダーチャート)を見ることが出来ます。また、考動力を高めるためのさまざまな正課外プログラムが掲載されています。自分に合ったプログラムを見つけて、どんどん挑戦して、社会に出る準備をしましょう!(山田剛史教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

「定期試験(筆記試験)」「到達度の確認(筆記による学力確認)」の注意事項・受験心得

初めて試験を受ける1年次生必見!

① 学生証は必需品!

学生証がない場合は、試験を受験できません。

- 紛失した場合: 再発行の手続きを。教務センター、または各キャンパス事務室へ。
- 試験当日に忘れた場合: 「受験許可証」の発行を。教務センター・各学舎授業支援ステーション、または各キャンパス事務室へ。

② 遅刻は厳禁!

交通機関の遅延など、不測の事態にも対応できるよう、早めの通学を心掛けてください。

③ 「試験システム」をチェック!

インフォメーションシステム/教務情報/履修試験成績関係から確認することができます。

- 学籍番号・氏名を記入するため、ボールペンは必須です。(ただし、消せるボールペンは使用不可。なお、マークシートは鉛筆で記入)
- 携帯電話・スマートフォン、ウェアラブルデバイス等は時計として使用できません。

④ 不正行為には厳正に対処!

不正行為をした場合は、すでに受験した科目も全て無効になります。

⑤ 病気など正当な理由で受験できない場合は…

医師の診断書など証明書がある場合は、「追試験」・「到達度の確認」に相当する学力確認を受けることができます。教務センター、または各キャンパス事務室で手続きしてください。

⑥ 成績発表の日時・確認方法

インフォメーションシステムで発表します。詳細は「試験システム」で確認してください。

関大トピックス

「新生に贈る100冊」 (2024年度版)を発表

「新生に贈る100冊」は、「若者の読書離れに歯止めをかけたい」という思いから始まった、今年で7年目を迎える本学独自の読書啓発企画です。選書された100冊は前田裕学長の推薦図書20冊に加え、丸善雄松堂ならびに紀伊屋書店の推薦図書各40冊で構成されており、100冊のうち約8割はいつでもアクセスできる電子書籍として提供しています。電子書籍の取り扱いがない図書も、各キャンパスの図書館で閲覧・貸出が可能です。なお、同企画の図書(電子書籍を含む)の手配は、父母会である本学教育後援会の協力によるもので、親から子への贈り物と位置づけています。



電子版「新生に贈る100冊」
(2024年度版)



オリジナル“SDGsクラフトビール”を製作！ 「関大ブループロジェクト」が始動

本プロジェクトは、関西大学校友会の後援のもと、東邦レオ株式会社および株式会社NI-WA(中津ブルワリー)と連携し、大学オリジナルビールの開発を通じて環境保全や地域活性、人や企業とのパートナーシップなどさまざまな文脈から推進する事業であり、大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジとしても登録されています。

2023年度の卒業式の日には、本プロジェクトのキックオフイベントとしてホップの苗植えセレモニーを挙行了しました。卒業生や関大万博部の学生たちが、芝井敬司理事長、前田裕学長、高橋智幸副学長、田中義信校友会会長、山本雅英教育後援会会長とともに、それぞれの手描きメッセージプレートを添え、ホップの苗を手植えました。

卒業後に母校に帰り、卒業記念に植えたホップで作られたビールで乾杯。そんな光景が、関大の定番となるかもしれません。



プレスリリース ▶



TEAM EXPO
共創チャレンジ ▶



2024年度 予算の公表について

学校法人関西大学
財務情報 ▶



2024年度 予算の概要について
(事業計画書 抜粋) ▶



関大人

よもやまばなし

かた

四方山話 ◆ まずは、型にはまれ!!

政策創造学部准教授 梶原 晶

かし わら あきら



大学では、授業によってはレポートが課されます。私も、学生から独創的で面白いレポートを書くにはどうしたらよいかと、時々質問を受けます。その際、特に1年次生の場合には「レポートの書き方ガイド」を読んで、「形式どおりに書くように」と伝えています。

今は亡き歌舞伎役者の方が「型があるから型破り。型が無ければ、単なる形無し」と述べていて格言だなと思いました。世の中、何かと個性や独創性が求められますが、むやみにそれらを狙うと大抵うまくいきません。これでもかど「型」にはまってみると、不思議とい

ろいろな発見があったり、新たな発想が生まれたりして、その「型」から自由になれるのです。私自身、普段の教育研究活動はもちろん、プライベートで15年以上続けている茶道でも「型」の大切さを実感しています。困った時こそ基本に帰ることが重要とも言えます。締め切りで焦る時こそ、「型」を意識してみてください。

なお、「レポートの書き方ガイド」はライティング・ラボでもらえますし、関大LMSからも入手可能です。もちろん2年次生以上にも一読・再読をお勧めします。

編集後記

春学期試験を乗り越えれば待ちに待った夏休みですね。今月号の特集では、夏休みの過ごし方について学生の皆さんの予定やこれまでの思い出を紹介しました。それぞれが自分らしい日々を楽しむ一方で、将来に向けた準備も行っており、とても頼もしく感じました。また、誌上教室では防災に関するアンケートを実施し、皆さんの災害への関心や防災意識の高さがうかがえました。今月号も役立つ情報がたくさん詰まっていますので、充実した夏休みを過ごすヒントを探してみてください。(広報課 中村純)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2024年6月3日

発行:関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話:06-6368-1121(大代表)

今月の表紙

千里山キャンパスのシンボルのひとつ、正門をくぐってすぐの場所にそびえる時計塔と青々とした木々の風景です。休憩時には学生たちの待ち合わせスポットとしてにぎわっています。

